



高校生の感性光る作品

美術展 上松で始まる

郡内

第11回「木曾郡高校生美術展」が12日、上松町寝覚のねざめ亭で始まった。20日まで

で、木曾青峰、蘇南両高校の美術部と、県木曾養護学校高等部の生徒たちが手掛けた絵画や工芸38点が並ぶ。

青峰高美術部7人は12点を展示した。2年で美術部長の中田晴乃さん(17)は、初めて油絵で描いた「深藍に染まる」と中世ヨーロッパの宮殿にたたずむ姫を水彩で描いた「ロココ」、パソコンで作成した「董姫」の3点を

高校生の若い感性が光る作品が並ぶ美術展

出展した。「部員一人一人の作風の違いに注目してほしい」と話している。

蘇南高の作品では、ちぎり絵「水の中の世界」や、トランプ遊びに興じる様子を大胆な構図で描いた水彩「ババぬぎのワンシーン」が目を引く。養護学校の生徒たちは、ポーチや弁当袋、木製の箱、陶芸の一輪挿しなどを出品している。

開場は午前9時～午後4時で入場無料、14日が休館となる。問い合わせは一般社団法人木曾人ねざめ亭(☎0264・24・0116)へ。(向山 均)